

石桜まつり

やればできる!!
今、想いをつなぐとき



10月23日(土)「やればできる!!今、想いをつなぐとき」のテーマのもと、
「^{せきおう}石桜まつり」が開催されました。

JSJ(児童生徒実行委員会)が中心となり、みんなで考え、つくったテーマ
やポスターなどで「^{せきおう}石桜まつり」を盛り立て、小学部、中学部、高等部ごとに、
学習発表や作業製品販売等が行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ご参観いただく人数を
制限した中で行われましたが、子供たちの発表や販売等ではたくさんの笑
顔があふれた一日になりました。

小学部



小学部では、「しあわせのケーキをつくろう!」「ぼくらげんきなももたろう!」「うたおう!おどろう!」「こびとのくつや」「ももたろう」「サンバで風を感じよう!」をテーマに、劇や音楽の発表を行いました。やさしく見つめる保護者の方々を前に、子供たちは、緊張や笑顔や恥ずかしさを見せながらがんばる姿があり、会場は大きな拍手に包まれていました。

中学部



中学部では、ステージ発表や製品販売を行いました。

ステージ発表では、東京オリンピックに続いて『さくらたんピック』を開催しました。生徒よる選手一同は、開会式や聖火リレー、パラリンピック公式種目のボッチャ競技に真剣に取り組み、拍手による応援に、大いに力を発揮していました。また、製品販売では、牛乳パックを再生し、卓上カレンダーとポチ袋を販売しました。一つ一つ丁寧に作り上げた製品を手にとっていただき、子どもたちは嬉しそうでした。

高等部



高等部の木工班、窯業班、縫製手工芸班、農業加工班では、職業の学習で製作した製品の販売や、産業サービス班では、床掃除や窓清掃のデモンストレーションの発表を行いました。

床清掃などのデモンストレーションでは、手際の良さに関心する方が多くいました。また、販売会では、生徒たちの心を込めた製品の受け渡しに、笑顔や温かいやりとりがあふれていました。生徒から「お客さんがたくさん来てくれた。」と嬉しそうに話していました。